

県内百貨店・主要小売店10月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	10.5		12.1
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	6.1	4.6	▲0.3
Vドラッグ	5.3	4.1	▲0.4
ホームセンターバロー	▲3.5	▲3.8	▲5.4
セリア	3.0	▲1.1	0.4
ヒマラヤ	▲2.6	▲8.7	▲10.3

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の10月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社のうち4社が前年同月上回った。

岐阜高島屋は来年7月末閉店を発表後、客数が大幅に伸びており、売上高が6カ月ぶりに前年同月上回った。北海道物産展も好調だった。

バローは行楽需要が回復基調に推移する中で、外食産業の値上げを意識する消費者ニーズを取り込み、すしの売り



百貨店小売店 4社が前年同月上回る
10月の売上高

上げが伸長。店内調理のパンや鮮魚も好調だった。Vドラッグはマスクが低調に推移したが、風邪薬のほか、リップクリームやフェイスパックといった乾燥対策グッズが堅調だった。ホームセンターは物価高の影響で家具や家電など耐久消費財の不振が続く。

セリアは日用消耗品が好調を維持。一方、ハロウィーンを楽しむ方の変化により、前年に好調だった仮装グッズが伸び悩んだ。

ヒマラヤは気温の高い日が続いた影響で秋物ウェアは低調だったが、一般スポーツでカバーし、微減にとどめた。